

斎場周辺大気環境測定結果（令和元年度）

川越市斎場では、火葬炉等の適正な運転状況を確認するため、周辺大気を測定し、環境への影響について確認しています。このたび、令和元年度の測定結果がまとまりましたので、お知らせします。

測定時期：令和2年1月28日～1月31日（斎場排ガス測定と同時期）
 測定場所：川越市斎場周辺
 測定内容：測定項目は、下表の7項目
 測定方法：環境省の定める方法に準ずる方法
 測定機関：（株）環境総合研究所

測定結果：測定結果は、参考基準を満たし、火葬炉の稼働に伴う大きな影響は特に見られませんでした。
 なお、二酸化硫黄の「1時間値の最大値」は市内測定局等のデータと比べて比較的大きな値でしたが、参考基準の1/10程度であることから、周辺への影響は最小限に抑えられていると考えられます。

項目		測定結果（4日間）		参考基準 （環境基準等：年間値）		市内測定局等のデータ （参考）（*2）
二酸化硫黄	ppm	1時間値の1日平均値	0.001未満～0.001	0.04以下	○	0.001～0.002
		1時間値の最大値	0.011	0.1以下	○	0.002
浮遊粒子状物質	mg/m ³	1時間値の1日平均値	0.004～0.007	0.10以下	○	0.002～0.006
		1時間値の最大値	0.017	0.20以下	○	0.014
二酸化窒素	ppm	1時間値の1日平均値	0.011～0.016	0.06以下	○	0.006～0.012
塩化水素	ppm	期間最大値(日平均)	0.001未満	0.02以下（*1）	○	—
ダイオキシン類	pg-TEQ/m ³	期間平均値	0.019	0.6以下	○	0.0098～0.078
水銀	μg/m ³	期間値(日平均)	0.0017～0.0047	0.04以下	○	0.0015～0.0026
クロム	μg/m ³	期間値(日平均)	0.0005未満～0.0023	—	—	0.00050～0.018

※ 環境基準等（塩化水素を除く）は年間の評価であり、本測定（4日間）とは単純に比較できないため参考基準としています。

*1：塩化水素の参考基準は、国が廃棄物焼却炉からの排出基準を設定する際に根拠とした数値（目標環境濃度）であり、期間の定めはありません。

*2：市内測定局等のデータは、二酸化硫黄～二酸化窒素は排ガス測定期間のデータ、塩化水素～クロムは公表されている平成30年度のものです。